

教育者としての「使命感」・「人間愛」・「創造力」を有する教員の養成を目指す

2021
秋
No.46

JUEN

Joetsu University of Education

国立大学法人
上越教育大学
Joetsu University of Education
学園だより

【特集】

上教大
学びを深める

5つの「棟」

ここは美術棟
| 絵画室(美109)だよ！





相互作用と共通理解から
生まれる高度な言語活動

研究室

全言語の不思議を見つける

英語母語話者同士の英会話はどんなイメージがありますか？教科書のように完璧な文法、会話者同士の常に完璧な意思疎通でしょうか？いいえ、実は違います。発話の失敗からの自発的な言い直し、相手による言い直しや繰返しの依頼が少なくありません。

同時に「実際の英会話では文法の正確さは不要だよ」という訳でもありません。実際の日常会話を録音し詳細に分析すると、文法が共通常識として意外な役割を担っていることがあります。例えば、会話の中で話者が「the what?」と言ったら発話として適切でしょうか。その直前に話者がAが「Can you give me the...?」(…は何が珍しい物が難しい単語)と言った場合、B氏の発話はごく自然です。B氏は文法の冠詞+名詞というパターンを利用し、A氏に発話の中でどこが問題なのかを伝えており、A氏は「...」のみを繰返すか説明する事で解決できます。これで会話の元の目的に速やかに戻って続けることができ、これが最も効率的な解決方法です。勿論、簡単に「Pardon?」でもいいのですが、その場合A氏



が発話を始めから繰返すか、違う文で言い直す必要があります。「What was the last word you said?」などは少し振返らなくては対応できません。

異文化間コミュニケーションについて

分野の中で、私は特にエスノメソドロジーの会話分析を研究しています。英語だけでなく日本語も含む多様な言語の会話、母語話者・非母語話者間の会話、世界で増えていく英語を共通語とした非母語話者同士の会話、職場での会話、電話やオンラインの会話、学校の教室でのやり取りも全て対象となり、ポティランゲージ等の非言語行為も分析されます。各々の場面での人間同士の相互作用がいかに高度な過程であり、人間関係の作り方や変容の過程、人間性の幅広さも見られ、飽きることはありません。

学生の皆さんも英語に限らず、身近な人との会話の中に不思議な発見があるかも知れません。



Ivan BROWN (イヴァン・ブラウン) 人文・社会教育学系 准教授

専門は異文化間コミュニケーション。特にエスノメソドロジー・会話分析を英語教育活動にも活用している。英国ケンブリッジ出身。コロンビア、スペイン、スコットランド、沖縄に在住あり。エジンバラ大学音楽学部を卒業後、ケンブリッジ大学で中等教育学校教員免許取得。ロンドン大学バークベック校応用言語学修士(文学修士・応用言語学)。趣味:芸術鑑賞、ハイキング



広い学びを通して感じた成長

大学に入って

こんにちは、水谷知生です。学習臨床・授業研究領域に所属している私は、情報系の教科の基礎について学習しています。また、もともと私は公民科の教員も志望しているので公民科の教員免許取得のため、社会系の授業も取っています。入学前には自分が情報系の学習をするとは想像できなかったのですが、現在の自分に驚いています。しかし、科目を超えた学習には新しい気付きも多く、そこでの学びが自分を成長させているのを感じています。また、そうした教科の枠を超えた学びが可能なのは、この大学の魅力だと思います。魅力といえばボランティア活動もそのうちの一つです。ボランティア活動を生の教育現場で行うことができるのは非常に貴重な経験の一つですし、何より楽しいです。私は2年生ですが、来年の教育実習に必要な準備を重ねながら、将来の糧としてたくさんの方を身につけるため、残り2年半の貴重な時間を過ごそうと思います。

サークル活動

私は、ボードゲームサークル Logica で部長を務めながら、軽音楽のサークルである MMS でも活動しています。新型コロナウイルス感染予防のため、両サークルともに活動の制限をしていますが、中でも充実した活動を行っています。MMSでは主にギターを担当しています。MMSの部員は邦楽が好き人が多いのですが、先日、新入部員と海外ロックバンドのコピーバンドを組むことが出来ました。メンバーの志向は全体的に邦楽に偏ってはいるものの、アングラから王道までいろんなジャンルを好きな人がいるので、自分と音楽の趣味の合う人が見つけやすく楽しいです。Logicaはまだ新設して間もない10数名の小さなサークルですが、年齢の上下や性別の違いを忘れて、みんなで和気あいあいとボードゲームを通じた知的刺激を楽しんでいます。いつでも新入部員を募集しているので、興味があったら音 204 に足を運んでみてください。



学部2年
現代教育課題コース
(学習臨床・授業研究)
水谷知生さん

特集

上教大
学びを深める

5つの棟

ジョーキョー先生が行く！
山屋敷キャンパス建物探訪

上教大は教育大学として、さまざまな領域や、教科・科目の専門家が揃っている、いわばミニ総合大学です。多様な学びを深めるための教室や実験室等について、山屋敷地区にある各棟のうち5つの棟に着目し、本学のイメージキャラクターであるマナーブ・デ・ジョーキョー先生とともに紹介していきます。

美術棟

充実した設備に驚きの連続



個人練習室がズラリと並び

音楽棟



課外活動でも大活躍！

体育棟

※スポーツ科学実験棟、体育館含む



上教大の「顔」といえばここ！

人文棟



銀色の天体ドームが目印

自然棟



上教大の設置と各施設の建設

本学は初等教育教員養成機関として設置されたため、各教科の専門に即した施設・設備が必要でした。

昭和55年の人文棟を皮切りに建設が始まり、翌年には人文棟のほか、講義棟、実験棟が完成しました。本学の特色の一つとして音楽・美術・体育の実践教育を重視しているため、昭和57年までに音楽棟、美術棟、体育棟が完成し、昭和58年には自然棟が完成しました。

その後、現在までに第2講義棟やスポーツ科学実験棟、教職大学院棟、各種センター等、学びを深める施設を充実させてきました。

▲建設中の様子

◀開学初期



現在▶

人文棟改修工事 上教大ロゴが光ります！

施設老朽化のため令和2年8月より人文棟7、8階部分の改修工事を開始し、令和3年3月に完了しました。残りの階についても令和5年を目処に全階完了する予定です。

この改修によって、研究室や実験室、水回りの機能改善を行い、より快適な環境で学問に励むことができるようになりました。

また、人文棟外壁に設置していた大学看板の取り替えを行い、夜間点灯するようになりました。ジョーキョー先生は人文棟をモチーフにしたキャラクターで、顔にある文字はこの大学看板を模しています。こちらもちろつかかり輝くようになるとはなりませんね。

上越教育大学



Physical Education Building 体育棟

後援第一科学実験棟・体育館含む

体育館や柔・剣道場、ダンス室などの設備のほか、保健室の機能を備えた演習室や食育のための実験設備、バイオメカニクスの実験設備等が揃っています。体育館は学生の課外活動等、授業以外の交流が活発に行われる場でもあります。



体育館



トレーニングルーム



柔・剣道場



看護教育演習室



Fine Arts Building 美術棟

実習棟の扉を開けると充実した設備が目の前に広がります。1階には表紙で紹介した絵画室の他に、塑造室や金工/木工室、陶芸室があり、2階には版画室やデザイン室、製図室も備えています。



版画室



金工室



陶芸室



木工室



Sciences Building 自然棟

ジョーキョー先生の上部分にも冠されている、ひときわ目立つ銀色の天体ドームが目印の棟です。写真にあるような天体望遠鏡や各種顕微鏡、3Dプリンター、食物学の研究設備等を用いて、幅広い研究や実験が行われています。



天体観測室



木材加工実験室



食物学実験室



植物生態・生理実験室



Humanities Building 人文棟

キャンパスで一番高い建物で、最初に建設されました。人文棟に入ると寄贈された巨大な八角輪蔵がお出迎え。1、2階は講義室が12部屋あり、3階には英語の授業等で使われるマルチメディア語学教室、LL教室があります。



マルチメディア語学教室



LL教室



八角輪蔵



中講義室



上越教育大学
大学紹介動画は
こちらから！



教育の単科大学ならではの魅力として各コース間の垣根の低さが挙げられます。他コースの授業を受けることも、総合大学で他学部の授業を受けることと比較して、そう難しいことはありません。また、本学は雪が多い地域ということに配慮し、各棟は通路でつながっており、移動が容易なことに加え、非常に一体感を感じる造りになっています。そんなアットホームな大学の中で、在籍学生は、所属に関わらず各棟の施設・設備を活用しながら学びを深めています。今回紹介した施設・設備はごく一部であり、紹介しきれないものについては大学紹介動画も併せてご覧ください。

学びを支える 施設と設備



ピアノ個人練習室

ギザギザの外観が特徴的な音楽(個人練習室)棟。70室あまりの個人練習室には、ピアノがそれぞれ置かれており、小学校教員を目指す学生全員が集中して練習に取り組んでいます。また、音楽(研究)棟の各楽器管理室には管弦打楽器や和楽器のほか、バリ・ガムランのセット等の珍しい楽器も揃っています。



楽器管理室1



楽器管理室2



音楽講義演習室1

Music Building

音楽棟





理由

実際の本
▶本を読んでいる実感があるから。
▶本の紙特有の質感やにおいが好きだから。

電子書籍
▶いつでもどこでも読み始められるから。
▶家でも読みたい本をゆっくり探せるから。



理由

電子機器
▶予定変更に対応しやすいから。
▶予定を通知で知らせてくれる。

手帳
▶自由度が高く自分オリジナルの手帳ができる。
▶電話中でもさっと書き込める。



理由

スマホ
▶スマホを持ち歩くだけでOK!
▶流行りの曲を手軽に聴けるから。

CD
▶好きな曲のCDが手元にあることが嬉しいから。

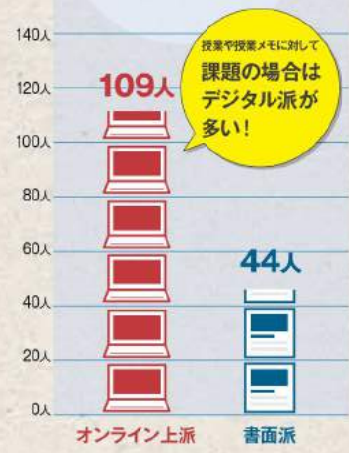
音楽プレイヤー
▶自分の好きな音楽を聴ければ十分だから。



理由

動画配信サイト
▶空いた時間に手軽に見始められるから。
▶インストールしてしまえば無料で見られるものもあるから。

DVD
▶DVDが家にそろっているのが嬉しいから。
▶無断転載や違法アップロードは見たくないから。



理由

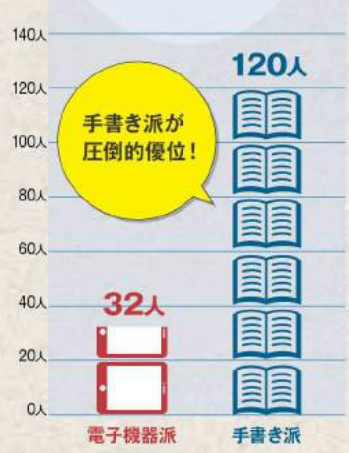
最近、オンライン課題多いと思わない?

うんそうだね、一括管理しやすいし、紙もなくなさなから助かってるよ!

え? 書面課題の方が慣れてるし安心じゃない? オンライン課題で起こりがちな「インターネットの不具合で時間内に出せなかった!」ということが防げるし。

そうかな? オンラインだと提出の取り消しがしやすいから、再提出しに行く手間も省けるし、慣れれば楽じゃない?

慣れの問題なのかな...



理由

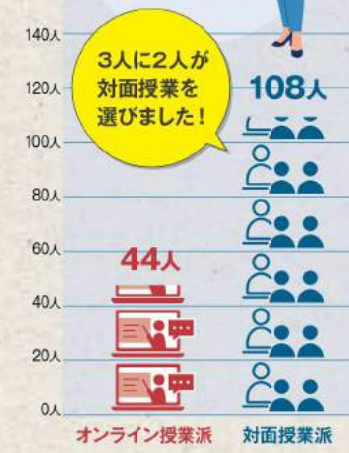
なんでみんな授業メモ手書きなの?

だって小学生のときからずっとメモは手書きじゃん!

それはそうだけど、電子機器の方が全授業のメモを一括できるから、絶対メモはiPadがいいよ!

実際に書いた方が頭に残りやすい気がするなあ。

でも、手書きだと先生の授業スピードについていけないときがあるでしょ?
それだったら、ササっとめもれる方がいいって!



理由

対面授業だと緊張感がうまく集中できるんだよね! しかも、友達に会えるし。

でも、緊張しないで授業を受けられた方が良くない? オンライン授業だとカフェとか自分の好きな場所で好きな時間に受けられるし。

でも、オンライン授業はなかなか頭に入ってこない? ネット接続が不安定だとまともに授業も受けられないじゃない。

なるほどね、それはそうだけど、オンライン授業は先生がスライドを提示してくれるから、後で見直ししやすいんだよね。

編集後記・まとめ

私たちがこの大学に入学した頃から、新型コロナウイルスの影響により、オンライン授業やオンライン課題が増えました。全国の学生が悲しい思いや不安な思いをしている中で、私たち自身、「今、学生はどのような授業形態や課題形式を求めているのだろう?」そして、この状況下で今の学生にどのような変化が起きているのだろう? という疑問を抱くようになり、今回の調査に至りました。今回の調査を通して、学生の様々な声を聞くことができ、とても勉強になりました。将来教員になった時にぜひ活かしていきたいと思えます!



上教大生の ICT事情

あなたはアナログ派? デジタル派?



学生のオンライン授業と対面授業に関する意識や、課題の取り組み方、デジタル派とアナログ派のメリットデメリットなど、皆さんがどんな事を感じているのか、1年生全員にアンケートを取って聞いてみました!

女子バレーボール部

女バレの紹介

私たちバレー部は、1年生6人、2年生6人で活動しています。2年生は昨年度から活動していますが、新型コロナによって、例年行われていたほとんどの行事に参加することができませんでした。そのため、新しい伝統を作りつつ、上教大女子バレー部を引き継いでいこうと必死です！また昨年度は多くの大会が中止となり、チーム力を発揮しきれません。これからの大会で、自分たちの力を試せることを楽しみに、日々練習に打ち込んでいます！

活動の様子

女子バレーボール部には指導者がいません。学年関係なく意見しあって、より良い練習方法を模索しながら練習しています。毎回「今日の人」というその日の目標を作る人を決め、目標の達成を意識して練習に取り組みます。パス練習の相手はくじ引きで決めるので、誰と一緒に練習できるか毎回ドキドキです！そして練習の最後には、じゃんけんてチーム分けをしてゲームをします。これが一番の楽しみ！1日の練習の成果を発揮しちゃいます！！

入部してよかったと思うこと！

学年関係なく、和気あいあいとした時間を過ごすことができます！中高のようなガツガツした練習ではないので、小学校のときだけの経験者も大活躍中！！また、中学校・高校との練習試合をしたり、中学校でバレーの指導をしている人もいたり、学校の授業以外で、子どもたちと関わる機会が増えます。教師になる上では貴重な経験ができます！

ちょっと運動がしたい方、バレーの経験がある方、未経験だけど興味がある方！！選手・マネージャー共に部員大大募集しているので、是非女子バレー部に遊びに来てください！



DATA 令和3年7月現在

部員数/
プレイヤー10人
マネージャー2人 計12人
活動日/毎週火・木・日曜日
活動場所/体育館
活動実績/
コロナのため大会等に参加
できませんでした

【取材協力者】
学部3年
教科内容構成コース(英語)
中塚 絢音

混声合唱団

DATA 令和3年7月現在

部員数/16人
活動日/毎週水・金曜日 18:30~
活動場所/音楽棟201
活動実績/
定期演奏会、地域演奏会 ほか

【取材協力者】
学部3年
現代教育課題コース(学習臨床・授業研究) 星 紗也子
学部3年
教科内容構成コース(英語)
小原 彩季

私たちにしかできない音楽を

混声合唱団は、女声10名、男声6名の計16名で活動しています。他大学の合唱団に比べると人数が少なく、演奏する曲の選択が難しいこともありました。しかし、一人ひとりの努力と、どんな時も支えあう心で、練習に励み、合唱を楽しんでいます。個性豊かなメンバーで、まとまらないときもありますが、それも混声合唱団が明るく、活動を楽しみたいと感じる一つの理由だと思っています。

また、顧問の上野先生や、音楽コースの先輩方など、多くの方々にお力添えをいただいております。私たちの合唱をよりよくするために、様々な方から刺激を受け、成長していく年にしたいです。

地域の演奏会や学内での演奏、そして歴史のある定期演奏会を通して、多くの方々に私たちの合唱を届け、お世話になっている方々に感謝を伝えたいと考えています。



合唱の魅力とは!?

合唱が持つ最大の魅力は、やはり「たくさん声が重なることで生まれる音色の美しさ」です！

一人ひとりの歌声は小さくても、たくさん集まって混ざり合い、溶け合うことで、1人では出せない味わい深い広がりや深みを持った響きが生まれるということです。中でも大学生の合唱だからこそ楽しめるというのが、自分たちのやりたい曲を出し合って取り組めること、そして曲の歌詞の深読みをしながら表現に繋げることが出来るということです。

我が合唱団の約半数は合唱未経験者です、しかし日々のパート練習や全体練習を通してぐんぐん成長できます。また、先輩はもちろんのこと後輩とも学び合いをしながら練習をしています。年間を通して国内でのイベントが豊富でパート内ではもちろん団の全体がとて仲がいいです！

合唱団に入ったら同じ趣味の人がいた！ということも多々あります！

ぜひぜひ合唱団の応援をお願いします！

附属学校だより



上越教育大学
附属中学校



【社会科】JAXAとオンラインで情報交換する生徒



地元の農業関係の方との意見交換の様子

附属中学校の 素敵な学びがある！

オンラインの特徴を生かした学び

附属中学校では、各教科でオンラインの特長を生かした授業展開をしています。今回は、2年生社会科の授業を紹介いたします。授業では、上越地方の農業の未来を考える授業を行いました。授業では、JAXA(宇宙航空研究開発機構)が協力し、生徒たちは日射量や降水量など衛星から送られた観測データを活用して、上越市で栽培の促進が考えられる農作物を提案しました。生徒からは「水田が複雑になっている場所を大きな畑にしてサツマイモを作る」「上越市で作付面積の少ないサツマイモの栽培を促進する」などの考えが出され、ブランド化に向け雪室を活用したサツマイモを作るアイデアがまとまりました。授業には地元の農家の方、オンラインでJAXAの職員も参加し、生徒の提案を評価していただきました。

オンラインや衛星データを使って、地元の農業の課題や「こういうことができる」という新たな可能性を見いだす授業は、生徒の学習意欲を喚起します。

附属中学校では、「AI時代を主体的・共創的に生き抜く生徒の育成・自己調整・創造性・人間性に着目して」を研究主題として授業実践を進めています。視野を広くもち、AI時代が到来している。

「わくわく大学デー」 8月30日

10年以上前から行われている「わくわく大学デー」。上越教育大学の先生方から特別授業を受けることができる附属中学校ならではの活動の一つです。ねらいは、次の通りです。

(1) 大学教員から、特別授業として、研究などの一端を附属中学校生徒に紹介していただくことを通して、学問や学習の面白さに触れさせ、生徒の知的好奇心を高める。

(2) 大学の研究者や大学施設に触れることにより、生徒の進路意識や社会性を高める。

以前は、全学年から参加者を募集する

ご協力いただいた先生	主な内容
藤谷 元子 先生	中国と日本のつながり～広東省～
船井 雄希 先生	古今東西のいろんな「日本語」
林庄 秀一 先生	黄金比とフィボナッチ数列
中川 仁 先生	平行六面体の体積と三角錐の体積
高橋 等 先生	不思議な数の世界
片桐 史裕 先生	デジタルシズンシップについて
山崎精太郎 先生	ビカビカ泥団子を作ろう
上野 正人 先生	美しい歌声でイタリア歌曲を歌おう
松浦 亮太 先生	体を動かすって簡単？
土田 了輔 先生	球技の構造
渡辺 貴志 先生 佐藤ゆかり 先生	フローリング研究体験
宮崎 球一 先生	心理学実験を通して人の行動と性格
大塚 浩正 先生	よりよいファシリテーターになろう！

附属中学校・書籍発行のご案内
「GIGAスクール時代の学校」
好評発売中
価格：一七六〇円(税込)
出版社：東京書籍
*詳細は、当校ウェブサイトでご公開中



不思議な数の世界

活動でしたが、数年前から進路への関心が高まる3年生を対象とした活動に変更しました。

今年度は、14名の大学の先生方からご協力いただき、午前12講座、午後12講座を開講しました。生徒は自分の興味関心に基づいて受講し、専門的な学習に熱心に取り組んでいました。



本質を問い続ける

令和元年度より2年間、専門職学位課程の教科教育・学級経営実践コースでお世話になりました。教職大学院に入る前から、子どもが能動的に問いを追究する楽しい算数授業の任り方について研究してきました。しかし、子どもと授業者としての自分の思いにズレがあることを感じることもありました。そこで、自分の授業を見つめ直し、理論と実践の往還を通してじっくりと授業観を新たにしたいと考え、教職大学院で学ぶことを決めました。教職大学院では、松沢要一先生の研究室に所属し算数の授業づくりについて、多くのことを学びました。松沢先生は、長年、算数や数学が好きなお子を増やしたいという思いで実践や研究を続けてこられました。子どもの学びにおける最も大切な部分であると思います。それはまた、教職大学院での2年間で自分が最も考え、追究したこともあります。授業者として求められる授業づくりはどんなものか？子どもは授業の中で何を感ずるか？子どもは何を学び、どこに算数や数学の愉しさを見出すか？そのような本質的な部分を問い続けることができたのはとても有意義な経験で、現場での実践に繋がっています。

また、同じ研究室で過ごした学部生、ストレート院生、現職の仲間、学校支援プロジェクトで合同チームを組んだ仲間、講義等で共に学んだ同期のみんな、



松井 衛
(まつい まさむね)

新潟県新潟市出身。新採用で長岡市立与板小学校に勤務。その後、十日町市立西小学校、長岡市立新町小学校を経て、平成29年度より現任校である新潟市立錦郷小学校に勤務。令和元年度より、本学教職大学院に入学。初任時より算数授業における研究を継続し、問い、一般化、活用力、子どもの論理等をキーワードに実践を積み重ねている。現在は現任校に戻り、体育主任や研修の学級力プロジェクトを担当している。

アドバイザーの先生方と議論したり活動したりしたことは、本当に学びの多い、充実した日々でした。教職大学院に来たからこそ経験することができたかけがえない2年間です。

現在は4年生の学級担任として、算数を中心に子どもが「楽しい」と感じる授業づくりに励んでいます。また、体育主任としてのマネジメント、および現任校の重点取組である学級力向上プロジェクトの担当としての取組に試行錯誤の毎日です。いずれのことにおいても、教職大学院で学んだ「本質を問う」ことを大切にしています。「それは本当に子どもの学びにつながるか」「子どもはどのくらい本質を問うのか」「子どもはどのくらい本質を問うのか」と思っています。

上教大 なんでも 掲示板



大学院1年長谷川紗耶さんが 新潟県音楽コンクール最優秀賞受賞

8月1日(日)に開催された第56回新潟県音楽コンクールにおいて、本学大学院1年の長谷川紗耶さんが声楽部門に出場し、最優秀賞を受賞しました。

長谷川さんのコメント

大学から始めた声楽で、まさかこのような賞を頂けるとは思っていませんでした。上越教育大学に入学してから現在に至るまで、どんな時も自分を信じ、高めてくださった上野正人先生や、演奏会がある度に聴きにきてくださり、応援して下さる地域の皆様を支えられて頂くことが出来た償だと思っています。これからも皆様との縁を大事にしながら、感謝の気持ちを忘れずに、更に研鑽を積みみたいと思っています。



上:県音楽コンクールで歌う長谷川さん
下:長谷川さん(左)と指導教員の上野正人教授(右)

新潟県教育委員会、新潟市教育委員会との連携推進協議会を開催

7月19日(月)に、新潟県教育委員会、新潟市教育委員会との連携推進協議会及び大学院専門職学位課程教育課程連携協議会を合同で開催しました。同協議会は毎年開催しているもので、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度に引き続きオンライン形式での開催となりました。

協議会は、議長を務める林学長の進行により、教育委員会と上越教育大学が連携・協働し、取組を進めている各種事業等の現状や今後の計画について情報共有を図るとともに、専門職学位課程における教育課程の編成や、大学の将来構想に関して活発な意見交換を行いました。



準硬式野球部 「春季北信越地区大学準硬式野球大会」優勝



5月29日(土)～30日(日)に開催された「令和3年度春季北信越地区大学準硬式野球大会」において、本学の準硬式野球部が優勝し、全国大会に進出しました。

コロナ禍における学部同窓会と 大学院同窓会のあり方について

令和3年4月より、新たに上越教育大学同窓会に携わらせていただくことになりました、担当副学長の渡部洋一郎です。すでに前年度の広報誌JUENにおいて案内されていますが、「上越教育大学学校教育学部同窓会」と「上越教育大学大学院同窓会」は、本来、令和2年8月に統合された新しい同窓会として発足する予定でございました。しかし、一昨年度来、猛威を振るう新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、その統合が先送りされてきたという経緯がございます。

本学の同窓会は、学部卒業生を約7,000名弱、大学院修了生を約8,000名強、数える規模を誇り、これまで、それぞれの同窓会組織が在学生に対する支援を始め、さまざまな支部の活動を企画運営されてこられました。私自身も、4月からの同窓会活動に関わる会議に出席させていただいておりますが、同窓会の運営と大学の支援に関するきめ細やかな議論は、いつも頭の下がる

思いで拝聴させていただいております。特に、役員として議事の進行や計画の立案に携わられた外部役員の皆様、学内の先生方のご苦勞を目の当たりにすると、コロナ禍の困難な状況下でも出来ることを真剣に模索されておられる姿勢には、感謝の気持ちしかありません。どうか新しい組織のもと、活発で実りある活動が展開されることを願ってやみません。

現段階での、コロナ取束の兆しはまだ先のように思われますが、令和3年度から4年度に向けて、両同窓会が統合し新たに発足する「上越教育大学同窓会」のますますのご発展を祈念申し上げて、担当としてのご挨拶に代えさせていただきます。

上越教育大学副学長
同窓会担当 渡部 洋一郎

修了生の住所等をお知らせください

転居・転職・結婚等により個人情報の変更があった場合は、お知らせください。詳細については、公式ホームページをご覧ください。
お問い合わせ先 / 上越教育大学大学院同窓会事務局
E-mail / dousoukai@juen.ac.jp

上越教育大学 同窓会 検索



ご寄附のお願い - 教員養成を通して皆様の思いを将来ある子どもたちに -

上越教育大学リサイクル募金

上越教育大学リサイクル募金は、皆様から読み終え不要になった本・DVD等をご提供いただき、その査定額を「上越教育大学基金」に寄附していただく取組です。寄附金は、上越教育大学基金において、学生の修学支援、教育研究活動の充実発展をはじめとした事業に役立てられます。

ご寄附の詳細などはこちら▼
kishapon.com/juen/

上越教育大学 リサイクル募金 検索



上越教育大学基金

上越教育大学では、法人としての財政基盤の強化を図り、本学における学生支援活動、教育研究活動等の推進を図ることを目的に、「上越教育大学基金」を設置しています。企業、団体、個人の皆様からの引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

詳細はこちら▶



J-style 通信

ウィズ・コロナの秋

学長 林 泰成



秋と言えば、皆さんは何を思い浮かべますか。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、睡眠の秋など、いろいろありますが、私が真っ先にイメージするのは食欲の秋です。私は、健康維持のため食事制限をしているので、かえって、いつ

もよりも食欲が増しているのかもしれない。

「天高く、馬肥ゆる秋」ということわざもあります。秋の収穫の時期には、気候もよく、食欲も増進するように思います。「馬肥ゆる」ということも納得できます。しかし、このことわざの由来を調べてみると、現在の意味とは少し違うようです。

これは、唐の有名な詩人杜甫（とほ）の祖父杜審言（としんげん）の詩に由来するもので、「雲浄（きよ）くして妖星（あせい）落ち 秋高くして塞馬（さいば）肥ゆ」という一節から取られたものだと考えられます。「妖星」は不吉の前兆とされる星のことです。「塞馬」は中国北部の辺境の馬を意味します。つまり、「馬が肥ゆる秋」には、元気がある馬に乗った北方の騎馬民族が攻めてくるというような事象が起こるから警戒しなければならぬということを読んだものなのだと思います。

国や文化や時代が違えば、詩やことわざの理解も変化するということが、

さて、この文章が皆さんの目に触れるころには、新型コロナウイルスのワクチン接種も全国的に相当進んでいると思

ますが、変異株も発生しているため、まだまだ安心できる状態ではないかもしれません。そうすると、「ウィズ・コロナの秋」というようなことも考えなければなりません。

では、コロナに注意しつつ、秋を楽しみ、暮らしとしてどのようなことが可能でしょうか。

たとえば、秋グルメをお取り寄せして食欲の秋を満喫する（ものによっては少し予算がかかるかもしれませんが）。車で紅葉を見に行く（少人数でお願いし、時間を避けてください）。日帰りで山歩きをする（里山でも2人以上4人以下程度でお願いします）。

いっそのこと、自室に籠って、アリス・トナレス全集や源氏物語を全巻読破するという読書の秋もよいかもしれません（大学の授業には出てきてください）。妖星が流れ落ちようとも、私たちの生活は続いていきます。コロナに負けない生活の工夫を重ねていきましょう。

この文章が活字になるころには、「学長は馬鹿なこと言っているよね。コロナなんかとっくに終わっているのに」ということになっているといいなと願っています。

インタビュー 大学院で輝く人

大学院2年
教科教育・学級経営実践コース
学級経営実践領域
おしだ あやか
押田 彩華 さん

大学院入学の理由

幼い頃からの夢が教員になることであったため、大学で小学校教員免許状を取得しました。学部4年時に受験した教員採用試験には合格しましたが、採用された自治体では義務教育学校ができ始めていることや、自分に専門科目がないことから、中学校と高校の免許状を取得したいと考えるようになりました。そんな時、大学の教授に上越教育大学大学院と提携を結んでいることを教えていただき、教育職員免許取得プログラムで免許取得のために学びながら自分の研究もしたいと考え、入学することを決めました。

学生生活

大学院では、現職院生もストレー院生も同じ立場で実践研究をします。様々な価値観や経験のある人と関わりながら研究を進めることができ、とても勉強になります。学校支

援プロジェクトでは、院生がチームで実際に学校現場に入り、その学校の課題解決に向けて先生方と一緒に考え、実践し、評価改善を図っています。そこから私は、チームでプロジェクトを進めることの大切さを学び、共に研究を進めることのできる仲間との出会いをととても心強く思っています。学校支援プロジェクトやゼミでの学びから、一人ひとりの子どもの理解が深まったと感じています。

最後に

大学院に進学して良かったと思います。自分がしたいことを実現できる喜びを感じながら忙しくも充実した毎日です。春から教壇に立つという意識をもって日々の授業や研究に取り組んでいます。全ての子どもたちの可能性を信じ、伸ばしていける教員になるために努力しています。同じ志をもつ方々と一緒に学べていることに感謝し、残りの大学院生活を充実させていきたいです。



インタビューを終えて

大学院での学びは、知識をつけることはもちろん、実際の学校に行き学ぶことができるので、本当に貴重な経験をさせていただいていると日々感じます。これから出会う子どもたちのためにこれからも学び続けたいと、改めて感じました。

■ 聞き手・文(写真右)
大学院2年
教科教育・学級経営実践コース
学級経営実践領域 諸橋ののか

免P = 教育職員免許 取得プログラム

本学大学院入学者で、教員免許を持っていない方や他職種、他教科の教員免許を取得したい方を対象に、長期履修学生制度を利用し、2年分の学費で3年間で在学し、大学院の教育課程と学部の教員養成カリキュラムの単位を修得することにより、教員免許状を取得することができます。



QRコードは(株)デンソーウェアの登録商標です。

アンケートにご協力ください
公式ホームページにおいて本誌に関するアンケートを実施しています。左のQRコードを読み込むことで、携帯端末からご回答いただけます。アンケートにお答えいただいた方には粗品をお送りいたします。(先着10名様)



Facebook
はじめました



Instagram
はじめました